

とみおかの森地区をどのような森にする事を目標とされているのでしょうか？



シモバシラ

第1に「健康の森づくり」を目指し、滝ノ入池を周回できる散策路を整備し、小中学生の学習とふれあい活動はもとより、一般区民の老若男女みんなが心身ともに健康になれる森づくりを目指しています。かけがえの無い生命を絶やさずことなく保全し、四季おりおりの自然をウォーキングや散策を楽しみながら、後世に引き継いでいくことが責務と考え、自然環境の保全と整備に取り組んでいきます。

第2に地域活動交付金制度を活用し、平成25年度からの2ヶ年計画にてビ

祝 環境大臣表彰
 (自然環境保全部門) 富岡まちづくり協議会

富岡 未来への提言
 一地域の特性を生かしたまちおとしー

「富岡まちづくり協議会」
 平成23年度に新城市の地域担当員制度に基づき、「まちづくりの7指針」を策定し19名の有志の皆さんで設立。現在は44名で活動されています。

訪問日：平成27年2月9日
 取材者：環境保全課 堀尾・澤井

(写真はすべて富岡まちづくり協議会提供)

オトープの環境保全整備を行いました。自生する植物を主体として植栽、林道の分岐点など数10箇所目標に標識を設置し、目安となる距離に加え、付属の案内や植物保護、景観スポットなどの表示も併せて行いながら道案内を兼ねた物を設置しました。

地域でのイベントは何か行っているのですか？

平成26年度は五葉湖多目的広場を会場に五葉湖の歴史と自然を学ぶ自然観察会、椎茸菌打ち体験、ご当地オリジナルみそうどんである五葉うどんをふるまう五葉まつりを開催しました。



五葉うどん

五葉湖のシモバシラを模した富岡オリジナルのこどもキャラクター、シモ

本日は新城市南部にあり、県境でもある富岡の地域情報の集約と活用などに取り組まれている富岡まちづくり協議会の安形さんにお話を伺いました。

富岡まちづくり協議会は平成23年度に発足され、5ヶ年計画で地域自治区での自然環境活動をされていると伺っておりますが、今までのような活動をされてきたのでしょうか。

富岡地域のあらゆる諸問題を取り上げ検討した中で最も緊急性の高いテーマのひとつが、「ゴミ不法投棄問題」でした。対象地域は、南は静岡県との県境、西は豊橋市との市境、北は東名高速、東は国道301号に囲まれた地域を「とみおかの森」と称して、強化地域に指定しました。

まず、ゴミを捨てる者の心理分析から始め、日本人の深層心理である信仰心を想起させ視覚的な崇高さを表す「こへい」をアレンジしたハイブリッドごへいを考案。強化地域の要所に区民の協力を得て設置しました。

次に希少植物保護です。絶滅危惧種を含む多くの希少植物が生育している里山の森づくりを目指し、希少植物保護標識、シモバシラ保護の標識と保護柵の設置をしました。



シモン&バッシー

ンちゃん&バッシーくんも初登場しました。

これからの課題や、将来的な活動はどのように考えられていますか？

地域計画まちづくりの7指針にあけていますが、水質浄化、耕作放棄地の対処、少子高齢化における地域とのコミュニケーションのあり方等の課題や豊かな自然環境との共存などがあげられます。生態系に優しいインフラ整備、自然や歴史文化の情報公開などの発信や、人々の生活に密着した「里山」を学び、代々行ってきた「お役」という無料奉仕作業を持つ負のイメージを払拭し、区民市民が積極的に活動しやすい森へと発想の転換を行っていかれたらと思います。

多くの方に関心を持っていただき、広大な富岡財産区山林を林業資源としてだけでなく、区民が親しみ活用できる森づくりを続けていけたらと思います。



平成25年度「みどりの日」に「自然環境保全部門」での環境大臣表彰はどのような活動で受賞されたのでしょうか？

「シモバシラをはじめとした希少植物を保護するために防護柵の設置を推進するなど、自然環境保全及び普及啓発に尽力」した事による表彰でした。平成24年度の新城市「めざせ明日のまちづくり事業」に2件が採択され、そのうちのひとつがこのシモバシラをはじめとした「希少植物保護」でした。厳寒の朝にシモバシラの写真を撮りに訪れる方々がいて、地面を踏み固めるため、繁殖が難しくなっています。柵などの防護対策と植物の解説を掲示板に表示して設置しました。シモバシラの保護対策は、この年の12月8日に実施。その3日後には見事な初シモバシラが観察されました。

す。

今後の活動予定や、皆さんへのお願いがありましたらお聞かせください。

女性準会員を募集中です。希少植物に関する調査や保全に関しては女性の関心度も高く適した分野だと思います。山野草の観察などを通じて、女性のご意見を取り入れて今後の会の活動に活かしていこうと思っています。



タシロラン

今回の取材をおして、環境保護をしながら、四季折々の自然を楽しめる森づくりは、後世に伝える新たな新城の名所が出来たと感じました。

とみおかの森を利用して、自然との共存という意識が芽生え、地域の交流が増えれば、多くの人が集う森になると思います。

最後になりますが、協議会の皆様のご活躍を祈念しております。